



大学生生活をスタートさせ、笑顔の新入生たち(写真一)

までは収容し切れない人も出たが、今回は特に混乱もなく入退場もスムーズで、式を終えた新入生らが田安門前の校の下で談笑する様子も見られた。

第1部は文理、経済、芸術、医、薬の5学部と通信教育部、大学院10研究科、第2部は法、生産工、歯、松戸歯、生物資源科の5学部と大学院8研究科、短期大学部(生物資源)、第3部は商、国際関係、理工、工の4学部と大学院4研究科、短期大学部(商経、食物栄養、建設、基礎工、応用)、短期大学部専攻科の新入生が出席した。

2010年度算 2494億円承認

前年度に比べ9億円増加

2010年度予算が3月19日の評議員会、26日の臨時理事会を経て決定した。資金収支予算は前年度比9億円増の2494億円となった。

評議員会の出席者は酒井健夫総長ら114人(うち委任状9人)。臨時理事会の出席者は32人(うち委任状1人)。評議員会では学科増設等に伴う審附行為変更や事業計画、医学部の借入金に関する案件も承認された。

【収入】学生生徒等納付金収入は、薬学部の6年制移行で学生数が増加したことなどに伴い12億7661万円(前年度比1.23%)増。資産売却収入が芸術学部の校地売却に伴い14億5040万円(同2309.55%)増。医療収入は医療機器更新や7対1看護体制取得などにより25億2829万円(同5.33%)増となった。

【支出】人件費支出が67万円減少など、経費支出の減少などにより11億8739万円(同24.90%)減となった。

新副総長3氏を承認

本学理事会は4月2日、小柳治宣経済学部長、牧村正治松戸歯学部長、出村克宣工学部長を副総長に選任する人事を承認した。総長の代理・代行には、佐藤三武朗国際関係学部長が任命された。いずれも前任者の任期満了に伴う人事で、任期は4月1日から2011年3月31日まで。担当は次の通り(敬称略)

- ▽小柳治宣(新任) 学術情報担当
- ▽牧村正治(新任) 学術情報担当
- ▽出村克宣(新任) 学術情報担当

未来創造

N.プロジェクト

-1-

り世界の科学者がしのぎを削っている。本学も例外ではない。2008年にスタートした学術研究戦略プロジェクト(通称N.プロジェクト)の第1号指定研究に選ばれたのが「ナノ物質を基盤とする光・量子技術の極限追求」。理工など5学部の力を結集して取り組む最先端技術の世界をのぞいた。

21世紀の科学技術のフロンティアはナノテクノロジーとされる。ナノはクリントン米元大統領が1996年の10億分の1を意味する国際単位。極微の世界を制御する技術をめぐる競争に火がついた。

ナノテクという言葉が広く関心を集めるようになったのは01年。ビル・クリントン米元大統領が1996年の10億分の1を意味する国際単位。極微の世界を制御する技術をめぐる競争に火がついた。



シンポジウムで研究内容を説明する大月教授

争に火がついた。ナノテクの目標は「少くとも小さく」。技術の進歩は小型化の歴史。パソコンや携帯電話などの電子機器を見れば一目瞭然

化は小型化の歴史。パソコンや携帯電話などの電子機器を見れば一目瞭然

の小型化を支えたのがトランジスタの小型化だった。半導体に光などを照射して削ることでトランジスタの構造は作られる。トランジスタのサイズは1980年代には1マイクロメートル(100万分の1)程度だったが、現在の最先端技術では「ナノ基盤班」がナノ

ナノテクに独自の取り組み

32ナノほど。本学の研究代表を務める理工学部の大月種教授(超分子化学)によると、将来的に原子数個分の大きさである1ナノのトランジスタを作り上げることが原理的には可能という。

本学は、国からの援助はぐな状況があった。大の内7人が30代の若手若い研究者にもチャンスが与えられた。これからは分野の研究者が携わっており、互いの要求に迅速に対応することが可能だ。「研究のための研究」に終わらせない組織が上がる。これまで3回の研究発表と述べた。同研究の評価

池谷 円